

株式会社キャンバス

《証券コード:4575》

2018年6月期第2四半期
決算説明会

2018年2月22日

Part 1
2018年6月期第2四半期
決算報告

■ 事業収益 55百万円

- ✓ Stemline社とのCBS9106提携に基づく収益
 - 前年同期とほぼ同額

■ 営業損失 268百万円

- ✓ 前年同期(219百万円)との差額<フェーズ1b試験開始による開発費増加
 - 開発費: 62百万円増(62百万円→124百万円)
 - 臨床試験準備費用→臨床試験費用
 - 基礎研究費: 15百万円減(97百万円→82百万円)
 - 販売費及び一般管理費: 微増

■ 特別利益 16百万円

- ✓ 第7回新株予約権失効に伴う新株予約権戻入益(11月)

2018年6月期2Q 決算報告

貸借対照表概要

(単位:千円)

		2017/6期末	2018/6期2Q	増減(参考値)
資産の部	流動資産	973,558	724,521	Δ249,037
	現金及び預金	889,368	707,164	Δ182,204
	売掛金	56,054	1,506	Δ54,548
	固定資産	19,723	32,872	13,149
	有形固定資産	-	-	-
資産合計		993,281	757,393	Δ235,888
負債の部	流動負債	66,187	75,488	9,301
	固定負債	-	-	-
	負債合計	66,187	75,488	9,301
純資産の部	株主資本	866,913	623,660	Δ243,253
	資本金	4,165,986	4,171,807	5,821
	資本剰余金	4,152,836	4,158,657	5,821
	利益剰余金	Δ7,451,693	Δ7,706,588	Δ254,895
	自己株式	Δ215	Δ215	-
	新株予約権	60,180	58,244	Δ1,936
純資産合計		927,094	681,905	Δ245,189

Stemline社 技術アド
バイザリーフィー入金

有形固定資産減損済

ストックオプション行使
に伴う新株発行

2018年6月期2Q 決算報告

損益計算書概要

(単位:千円)

	2017/6期2Q	2018/6期2Q	増減(参考値)
事業収益	55,304	55,452	148
事業費用	274,456	324,224	49,768
研究開発費	160,178	207,088	46,910
販売費及び一般管理費	114,277	117,136	2,859
営業利益	△219,151	△268,772	△49,621
営業外損益	9,741	1,750	△7,991
経常利益	△209,410	△270,523	△61,113
特別損益	—	16,254	16,254
税引前当期純利益	△209,410	△254,269	△44,859
当期純利益	△210,035	△254,894	△44,859

臨床試験費用

新株予約権戻入益

2018年6月期2Q 決算報告

キャッシュフロー計算書概要

(単位:千円)

	2018/6期2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△189,473
投資活動によるキャッシュ・フロー	130
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,442
現金及び同等物に係る換算差額	800
現金及び同等物の増減額	△182,204
現金及び同等物の期首残高	889,368
現金及び同等物の四半期末残高	707,164

新株予約権の行使
による収入

2018年6月期 業績見通し

2017年8月10日公表

(単位:百万円)

	2017年6月期 実績	2018年6月期 2Q実績	2018年6月期 見通し
事業収益	105	55	110
事業費用	504	324	710
研究開発費	316	207	491
販売費及び一般管理費	188	117	218
営業利益	△399	△268	△600
経常利益	△413	△270	△600
当期純利益	△414	△254	△601

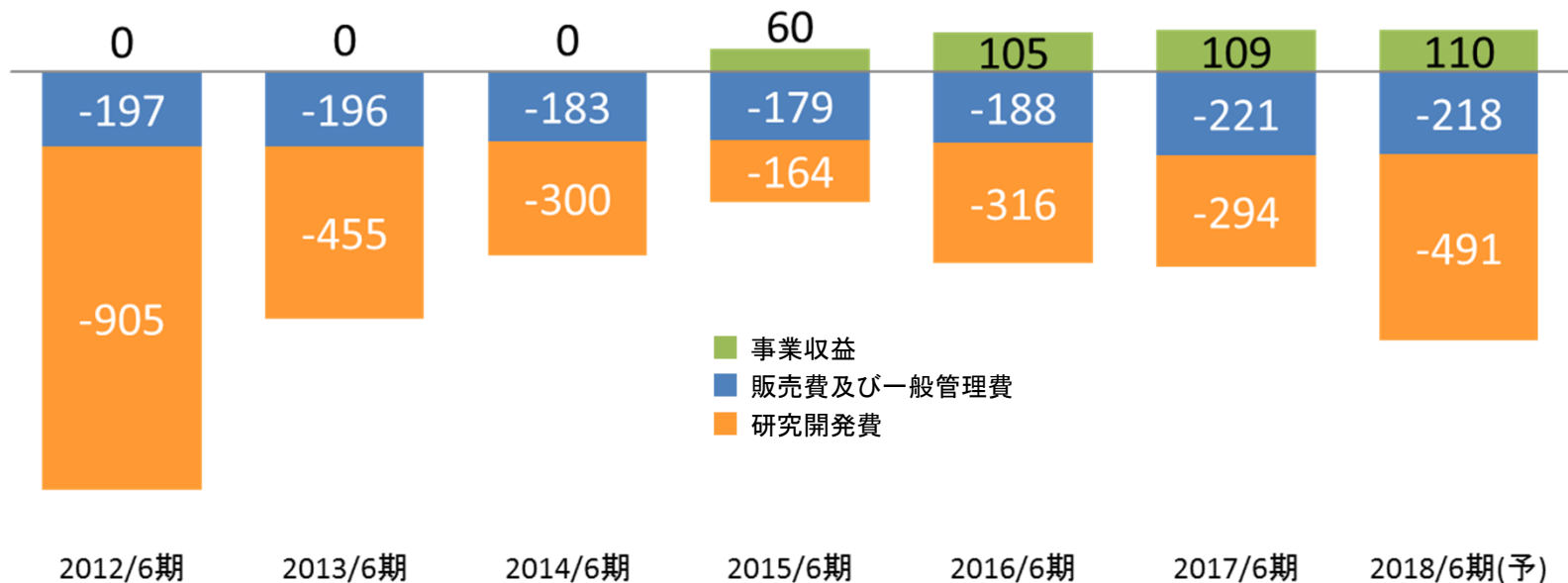
2018年6月期 業績見通し

■ 事業収益：110百万円

- ✓ Stemline社からの技術アドバイザリーフィー
- ✓ 新規提携獲得による上積みを図る

■ 事業費用：710百万円

- ✓ 研究開発費 491百万円（基礎研究費等175百万円+臨床開発費315百万円）
- ✓ 販売費及び一般管理費 218百万円



Part 2
2018年6月期第2四半期
事業報告

CBP501作用メカニズム論文掲載 (2017年7月20日・9月19日)

- ✓ Oncotarget誌
- ✓ 3報めの論文はPriority Research Papers(優先度の高い重要な論文)に選定
- ✓ 6月23日公表の1報めの論文と併せて、フェーズ1b試験の基礎となっている作業仮説の裏付け

CBP501フェーズ1b試験開始

- ✓ 実施施設オープン (2017年8月23日)
- ✓ 最初の被験者への投与開始 (2017年10月27日)

CBS9106 (SL-801) ESMO年次総会での発表 (2017年9月12日)

- ✓ Stemline社による臨床第1相試験第6コホートまでの24症例に関する報告

CBP501

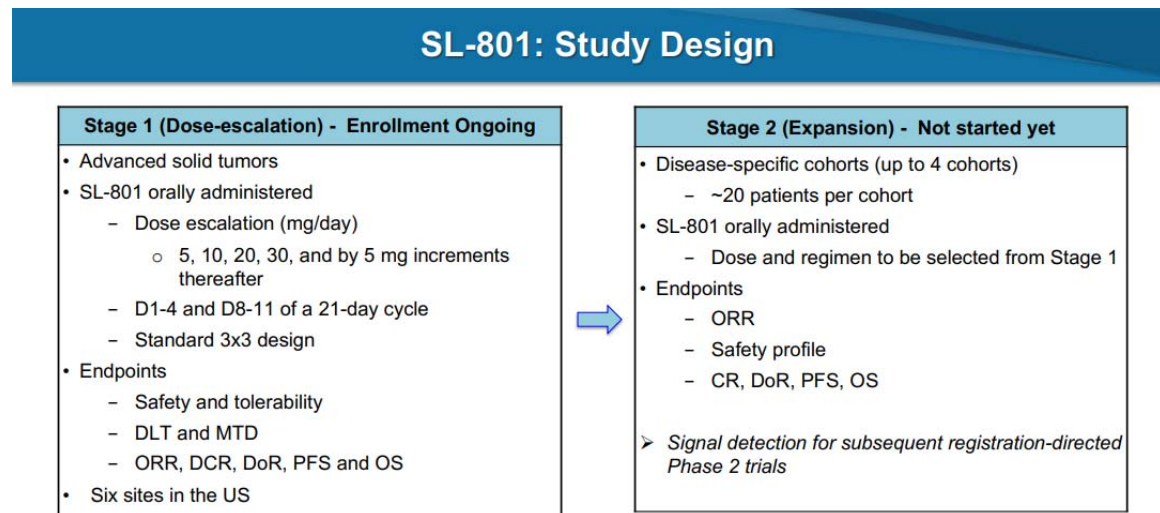
- 新規提携獲得活動・・・ 継続中、成果には至らず
 - ✓ フェーズ1b試験結果(途上データを含む)を用いた活動

- フェーズ1b試験・・・ 予定どおり開始、順調に進捗
 - ✓ 臨床試験実施施設・PI・CROとの良好なコミュニケーション
 - ✓ 進行の見通し
 - ✓ 詳細情報
“CBP501, Cisplatin and Nivolumab in Advanced Refractory Tumors”
ClinicalTrials.gov <https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT03113188>
(一部情報更新にタイムラグあり)

CBS9106

➤ 提携先Stemline社による臨床試験の状況・・・

- ✓ 最新状況: 第8コホートへの組入れ進行中 (2018年1月Stemline社公表)



Next Steps

- *Dose escalation continues*
- *8th cohort (50 mg/day) currently enrolling*
- *Further efficacy and safety updates expected 2018*
- *Additional trials planned include single agent, combination, and hematologic cancers*

(Stemline社資料より)

後続の次世代パイプライン

由来	特徴・標的	探索・創出	最適化	前臨床試験
自社創出	CBP-A TAT-S216~CBP501の系譜に属する発展型	CBP-A08		
	CBP-B CBP-Aシリーズとまったく別の発想から作製したペプチド型免疫系抗癌剤			
ファルマバレーとの共同研究	IDO/TDO阻害剤 静岡県立大との共同研究			
	(ターゲット非公表) ファルマバレーのライブラリから探索・最適化			

その他の共同研究の状況

- 富士フイルム (2017年6月～)
 - ✓ ペプチドを用いた中分子医薬品などの分野で免疫系抗癌剤の創出を目指す

- 東京大学医学部附属病院 (2016年3月～、2年延長で2019年3月まで)
 - ✓ 膵臓癌発症モデルマウスによるCBP501薬効試験

- 静岡県立大学 (2016年6月～)
 - ✓ 免疫系標的IDO/TDO阻害剤候補化合物の最適化と評価

- ファルマバレーセンター (2016年4月～)
 - ✓ ファルマバレーセンターの化合物ライブラリーを用いた創薬スクリーニング



■ 将来見通し等に関する注意事項

- 本資料は、当社に関する情報の提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想・見通し等に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料は、受領者がいかなる目的にご利用される場合においても、本資料受領者ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

■ お問い合わせ先： 株式会社キャンバス 管理部 IR担当
Email IR@canbas.co.jp